

世界に通じる KYUSHU (九州)

開催日 平成28年8月3日(水)～8月4日(木)

場 所 メイン会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
1階「グラバーホール」



第1分科会：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
2階「東山手B・C」

第2分科会：ホテルニュータンダ 1階「アンシャンテ」

第3分科会：セトレグラバーズハウス長崎 1階「バンケットルーム」

第4分科会：グラバー園旧スチール記念学校 2階「206・207教室」

目次

ごあいさつ	2
プログラム	4
基調講演	8
第1分科会 地域遺産の保全・活用による地域づくりと九州・山口地域の発展	10
第2分科会 「I o T」が開く九州・山口地域の産業の未来	12
第3分科会 外国人材の活用による企業・団体のグローバル化	14
第4分科会 ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際スポーツ大会の効果を九州で波及させる取組について	16
全体会議	18
会場案内図	20
参加者名簿	別冊

ご あ い さ つ

本年4月の熊本地震の発生を受け、九州地域戦略会議では、九州・山口各県が連携して、被災地の一日も早い復旧・復興の取組を推進するとともに、九州の基幹産業である観光産業など九州・山口地域の産業・経済の振興・発展に全力で取り組んでいます。

国が本年6月に改訂した日本再興戦略では、第4次産業革命と称し、IoTやビッグデータ、人工知能、ロボットを活用した新たな産業を戦略的産業と位置づけ取組を推進しようとしています。これらの産業分野は、我が国が本格的な人口減少社会に突入し、グローバル化が急速に進む中、日本の将来を左右する重要なものであるため、九州・山口地域においても、自動車や半導体関連産業で培ったロボット技術などを活かし、本分野の推進に果敢に取り組み、世界における日本のプレゼンスを高めていく必要があります。

また、訪日外国人旅行者が増加傾向にある中、ラグビーワールドカップ2019日本大会が、九州・山口地域で開催されるとともに、翌年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、アジアのみならず海外から多くの観光客が訪れることが期待されます。まさに、アジアに留まらず、全世界へ、九州・山口地域をアピールする好機と言えます。

このため、13回目を迎える今回の夏季セミナーは、「世界に通じるKYUSHU（九州）」を統一テーマとし、「IoT」や「外国人材」の活用、さらに、「ラグビーワールドカップ 2019日本大会等国際スポーツ大会」や「地域遺産の保全・活用」を契機とした地域活性化と4つの分科会を設定しました。いずれも、今後の九州・山口地域の地方創生の取組を力強く推進するための鍵となる分野であり、熊本地震後の創造的復興にも資するものであると考えています。九州・山口地域をリードする産学官のトップが一堂に会する貴重な機会でありますので、参加者の皆様には、ぜひ活発にご議論いただきたいと存じます。

結びに、本セミナーが、「九州はひとつ」という機運をさらに高め、世界に通じるKYUSHU（九州）の実現につながる契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長

九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞

ごあいさつ

4月に発生した平成28年熊本地震は、熊本・大分を中心に甚大な被害をもたらしました。そして、その影響は被災者の生活、被災地に大きなダメージを与え、観光産業など九州経済全体にも波及しています。九州・山口地域の産官学が一体となって、被災地の復旧・復興へ向けての取組を支援し、九州・山口地域の経済を更に活性化して行かなければなりません。

また、日本の人口減少・少子高齢化は年々進展し、国内需要の縮小傾向は止まりません。国内や九州にとどまっていたら、厳しさは増すばかりで、明るい将来は望めません。海外進出や輸出、外国人観光客の一層の誘客など、其々の立場で、ビジネスの活性化に繋がる積極的な取組が求められています。

九州地域戦略会議の夏季セミナーは、平成16年に宮崎県で第1回を開催して以降、今回の長崎での開催で13回目となります。これまでの夏季セミナーでは、九州・山口地域の地理的優位性などから、アジアのゲートウェイとして、アジアに視点をおき、さまざま取組を議論してまいりました。政府は「日本再興戦略2016」で第4次産業革命を成長戦略の柱とし、また、TPPの大筋合意・署名やインバウンドの急激な伸び、大規模国際スポーツ大会の日本開催決定など、私たちを取り巻く環境は、アジアのみならず、欧米をはじめとした世界を意識せざるを得ない状況となっています。

そこで、今回の夏季セミナーでは、「世界に通じるKYUSHU（九州）」を統一テーマとし、九州・山口地域が喫緊に抱える課題をテーマとする4つの分科会を選定いたしました。ご参加の九州・山口地域を牽引する産官学のトップの皆さまには、是非とも積極的に議論にご参画いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

現役リーダーであり、責任者である私たちには、この九州・山口地域を魅力ある地域として、次世代に引継ぐ責務があります。本セミナーが、被災地の復旧・復興を支援し、九州・山口地域の地方創生の取組を加速させ、魅力ある地域づくり実現に向けた有意義な議論となるよう祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長

一般社団法人九州経済連合会 会長 麻生 泰

第13回九州地域戦略会議夏季セミナープログラム

第1日 8/3(水)

13:30 ■ 開会式

会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
1階「グラバーホール」

開会挨拶 九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝 貞
長崎県知事 麻生 泰 道
中村 法 道

■ 基調講演

「日本企業の強みを生かしたグローバル戦略」

日産自動車株式会社 取締役副会長 志賀 俊 之

15:30 ■ 分科会

第1分科会 地域遺産の保全・活用による地域づくりと九州・山口地域の発展

会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
2階「東山手B・C」

座長 琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 准教授 波多野 想
課題提起者 沖縄県南城市 企画部観光商工課 課長
(一般社団法人南城市観光協会 前事務局長) 宮城 光 也
課題提起者 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
さるく推進部マネージャー 的野 寛

第2分科会 「IoT」が開く九州・山口地域の産業の未来

会場：ホテルニュータンダ
1階「アンシャンテ」

座長 一般財団法人日本経済研究所 チーフエコノミスト 鍋山 徹
専務理事・地域未来研究センター長
課題提起者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 吉本 陽子
政策研究事業本部 東京本部 経済政策部 主席研究員
課題提起者 株式会社安川電機 技術開発本部 技術企画部 部長 下池 正一郎
課題提起者 九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 松隈 浩之

第3分科会 外国人材の活用による企業・団体のグローバル化

会場：セトレグラバーズハウス長崎
1階「バンケットルーム」

座長	立命館アジア太平洋大学 副学長	横山 研 治
課題提起者	株式会社中山鉄工所 代表取締役社長	中山 弘 志
課題提起者	立命館アジア太平洋大学 副学長	横山 研 治
課題提起者	福岡県 企画・地域振興部 理事兼国際局長	福島 明 彦

第4分科会 ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際スポーツ大会の効果を九州で波及させる取組について

会場：グラバー園旧スチール記念学校
2階「206・207教室」

座長	九州大学 大学院工学研究院 教授	塚原 健 一
課題提起者	公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会 業務局事業部長	伊達 亮
課題提起者	公益財団法人日本ハンドボール協会 副会長兼専務理事	蒲生 晴 明
課題提起者	株式会社三菱総合研究所 ビジョン2020推進センター長	仲伏 達 也

18:30 ■ グラバー園内のご案内

会場：グラバー園
「三浦環像前広場」

19:00 ■ 懇親パーティー

第2日 8/4(木)

9:00 ■ 全体会議

会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
1階「グラバーホール」

全体会議座長	一般社団法人九州経済連合会 会長	麻 生 泰
分科会報告	琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 准教授	波 多 野 想
	一般社団法人日本経済研究所 チーフエコノミスト 専務理事・地域未来研究センター長	鍋 山 徹
	立命館アジア太平洋大学 副学長	横 山 研 治
	九州大学 大学院工学研究院 教授	塚 原 健 一

10:30 ■ 閉会

Memo

基 調 講 演

「日本企業の強みを生かした グローバル戦略」

日産自動車株式会社 取締役副会長

志 賀 俊 之 (しが としゆき)氏

略 歴

1953 年生まれ。和歌山県出身。1976 年大阪府立大学経済学部卒業後、日産自動車株式会社に入社。ジャカルタ事務所長、企画室長およびアライアンス推進室長、2000年 常務執行役員を経て、2005年4月に最高執行責任者、同年6月には代表取締役 最高執行責任者に就任。1999年の日産と仏ルノーとの資本業務提携以降、カルロス・ゴーン社長を支えてきた。2013年 代表取締役 副会長、2015年からは取締役副会長を務めると共に、株式会社産業革新機構 代表取締役会長に就任。また、2014年から経済同友会 副代表幹事を務める。

第1分科会 地域遺産の保全・活用による地域づくりと九州・山口地域の発展

主 旨

世界遺産登録により観光振興等の地域経済が活性化する一方、その保存や環境・景観の保全などの課題も出てきている。

そこで、九州・山口地域の世界遺産をはじめとする地域遺産を活用しながらも、その環境や景観の保全、さらには次世代への継承など、持続的な観光地づくりを通じて九州・山口地域全体としての発展に繋げていくには、今後どのように取り組んでいくべきか以下の3点について議論する。

論 点

- ①世界遺産・日本遺産等の地域に存在する有形・無形の様々な遺産の維持・保存のあり方について
- ②遺産を活用しながら、その質の向上を図り、観光地づくりに取り組むための方策について
- ③人材育成や次世代への継承、他地域との連携など持続的な地域づくりの取組について

座 長

琉球大学 観光産業科学部観光科学科 准教授 波多野 想(はたの そう)氏

経 歴

2003年 東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻博士後期課程修了
博士(工学)

東京工業大学大学院総合理工学研究科 特別研究員

2004年 (台湾)中国科技大学建築系・建築研究所 助理教授(～2011.03)

2011年 琉球大学観光産業科学部 准教授(～現在)

●「歴史文化遺産の活用に向けた取組」

「南城型エコミュージアムの構築に向けて」

沖縄県南城市 企画部観光商工課 課長(一般社団法人南城市観光協会 前事務局長) 宮城 光也 氏

●「長崎さるくの成り立ちとこれからの取組」

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会 さるく推進部マネージャー 的野 寛 氏

第2分科会 「IoT」が開く九州・山口地域の産業の未来

主 旨

政府は「日本再興戦略 改訂2016」において、IoT(モノのインターネット)・ビッグデータ・人工知能時代への産業構造・就業構造改革を促している。当地域もセミナー等の開催が増加し、大手企業では取組が始まっているが、多くの中堅・中小企業は様子見の段階にある。

産業構造では、当地域に集積している自動車・半導体など製造業から、卸売・小売などサービス業に至るまで、IT(情報技術)などネットワーク型のビジネスモデルの変化によって、プラス・マイナス両面の影響がある。また、就業構造では、人手不足への対応とともに、IoTと労働の代替性/補完性という視点から、補完性の高いスキルを生み出すような人材育成が必要になる。当地域も、こうしたトレンドを睨みながら、新たなビジネスの可能性を模索する時期に来ている。

論 点

- ①IoT・ビッグデータ・人工知能の最新動向について、米国・ドイツ企業によるビジネスモデルの変化を俯瞰し、IoTの活用手法を検討する
- ②中堅・中小企業におけるIoTの活用手法について、(1)市場の創造、(2)人材の育成、(3)ビジネスマッチングの三つの視点からケーススタディで学ぶ
- ③当地域の新たなビジネスの可能性について、国内市場(質的拡大)と海外市場(量的拡大)をターゲットとして、成長が期待できる産業を考える

座 長

一般財団法人日本経済研究所 チーフエコノミスト
専務理事・地域未来研究センター長 鍋山 徹 (なべやま とおる) 氏

経 歴

1982年	早稲田大学法学部卒
1982年4月	日本開発銀行(現 日本政策投資銀行)
2000年4月	米国スタンフォード大学 国際政策研究所客員研究員
2001年4月	日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長
2006年6月	同 上 調査部長(2009年～産業調査部長)
2013年6月	現職

最近の主な著書・論文等

- ・「日本企業のものづくり革新」(共著) 同友館 2010/10
- ・日本政策投資銀行HP 「Facebookみらいの目」連載
- ・2010～2014年、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」のレギュラーコメンテーター

事例発表者

- 「データのバリューチェーンが生み出す新たな価値の創造」
三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部
東京本部 経済政策部 主席研究員 吉本 陽子 氏
- 「安川電機におけるIoT/M2Mの活用」
株式会社安川電機 技術開発本部 技術企画部 部長 下池正一郎 氏
- 「ヘルスケア + IoT + エンターテインメント」
九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 松隈 浩之 氏

第3分科会 外国人材の活用による企業・団体のグローバル化

主 旨

グローバル経済社会で高度人材の獲得競争が激化する中、九州・山口地域においても優秀な外国人材を確保し、企業・団体自らがグローバル化を図っていくことが重要な課題である。

そこで、本分科会では、以下の3つの論点について議論を深め、九州・山口地域における企業・団体のグローバル化に向けた機運の向上を図っていく。

論 点

①企業・団体における外国人材の果たす役割

外国人材活用のメリットについて、外国人材を積極的に活用している企業から事例発表を行い、企業・団体における外国人材の活用意欲を喚起する。

②教育現場における外国人材の現状

社会に出ていく外国人材のニーズやフォローアップについて、留学生を多数受け入れている大学から事例発表を行い、外国人材が求める環境等について理解を深める。

③外国人材と企業・団体のIT等を活用したマッチング強化策

ITを活用した人材マッチングシステムについて、当該システム構築を主導している団体から事例発表を行い、システムの具体的活用策等について議論する。

座 長

立命館アジア太平洋大学 副学長 横山 研治 (よこやま けんじ) 氏

経 歴

1955年生まれ。博士(経営学)。早稲田大学政治経済学部卒業。雑誌編集記者、専門学校講師などを経て、2000年に立命館アジア太平洋大学教授に就任。現在は同大学において副学長を務める。専門は貿易論、貿易制度論。

著書に『航空運送における定型取引条件の実証的研究』(比較文化研究所刊、1991年、貿易奨励会賞)、『我国で使用されるトレードタームズの動向調査』(日大産業経営研究所刊、1997年、貿易奨励会賞)、『航空運送と貿易システム』(同文館、2000年、日本貿易学会奨励賞)、『英語は突然うまくなる』(プレジデント社、2011年)などがある。

課題提起者

- 「産学連携によるグローバル人材交流」
株式会社中山鉄工所 代表取締役社長 中山 弘志 氏
- 「グローバル人材ビジョン」
立命館アジア太平洋大学 副学長 横山 研治 氏
- 「留学生と企業とのマッチングシステムの構築」
福岡県企画・地域振興部 理事兼国際局長 福島 明彦 氏

第4分科会 ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際スポーツ大会の効果を九州で波及させる取組について

主 旨

2019年には、福岡、熊本、大分の3都市でラグビーワールドカップが、熊本で女子ハンドボール世界選手権大会が開催される。また、翌2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会においては、九州各地で各国・地域のチームが事前キャンプを実施することが予想される。さらに、2021年には、福岡で世界水泳選手権大会が開催されることが決定し、関西ではワールドマスターズゲームズが開催される。

これらの国際スポーツ大会は、スポーツを核としたまちづくりや地方創生の取組を加速するとともに、九州・山口が熊本地震から復旧・復興する姿を世界にアピールするチャンスでもある。

この事前キャンプや世界大会の機会を活かして、競技関係者や観客として九州を訪れた人に、その素晴らしさを理解してもらい、九州の、ひいては日本のブランドイメージをいかに向上させ、継続的な訪問者増につなげるかについて検討する。

論 点

①事前キャンプ誘致や大会実施に関する協力体制

九州・山口地域の官民が一体となった情報発信・誘致活動及び大会実施の協力体制の確立

②事前キャンプや大会実施の際の地元の活動

大会の盛り上げやスポーツを通じた継続的な国際交流等

③事前キャンプや大会実施を契機としたまちづくり

スポーツツーリズムの確立・ボランティアプログラムの磨き上げ 等

座 長

九州大学 大学院工学研究院 教授 塚原 健一（つかはら けんいち）氏

経 歴

1985年	九州大学工学部土木工学科卒業、(旧)建設省入省
1993年	ペンシルバニア大学博士 (Regional Science)
1994-1997年	在インドネシア日本大使館経済協力担当書記官
1998-2001年	アジア開発銀行政策計画官、都市開発専門官
2007-2008年	日本水フォーラム、アジア太平洋水フォーラム事務局次長
2008-2011年	国際協力機構シニアアドバイザー (都市地域開発)
2012年～	現職

課題提起者

- 「ラグビーワールドカップ2019の大会実施およびキャンプ地誘致にむけて」
公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会 業務局事業部長 伊達 亮 氏
- 「競技者がキャンプ地および大会開催地に求めるもの」
公益財団法人日本ハンドボール協会 副会長兼専務理事 蒲生 晴明 氏
- 「キャンプ誘致や大会実施を契機としたまちづくり」
株式会社三菱総合研究所 ビジョン2020推進センター長 仲伏 達也 氏

第4分科会 ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際スポーツ
大会の効果を九州で波及させる取組について

Memo

全体会議

Memo

会場周辺図



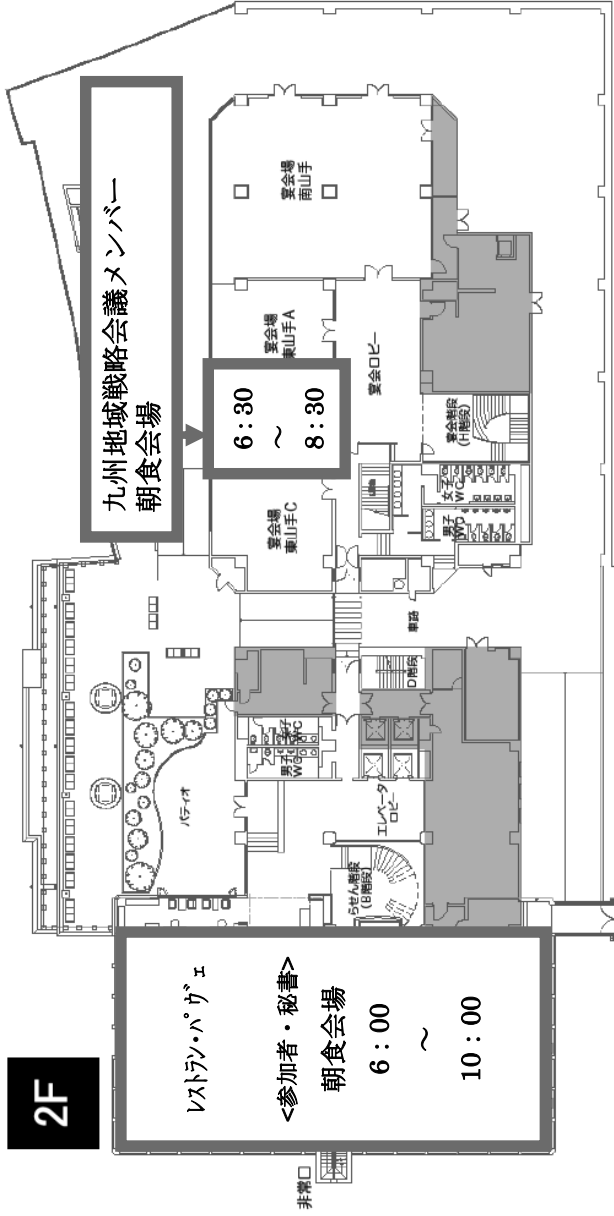
＜第2分科会＞
 ホテルニュータンドンダ 1F
 「アンシヤンテ」

＜主会場＞
 ＜第1分科会＞
 ANAクラウンプラザホテル
 長崎グラーバーヒル 2F
 「東山手B・C」

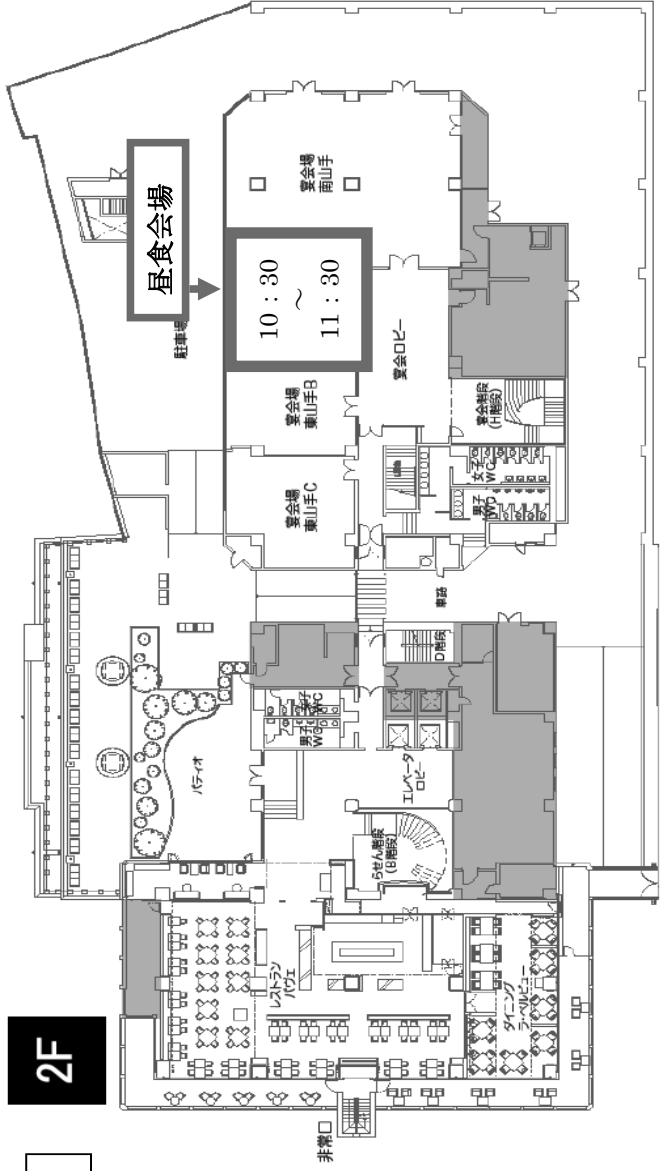
＜第3分科会＞
 セトレグラーバースハウス長崎
 1F 「バンケットルーム」

＜第4分科会＞
 グラバー園
 旧スタイル記念学校 2F
 「206・207教室」

8/4 朝食会場案内図

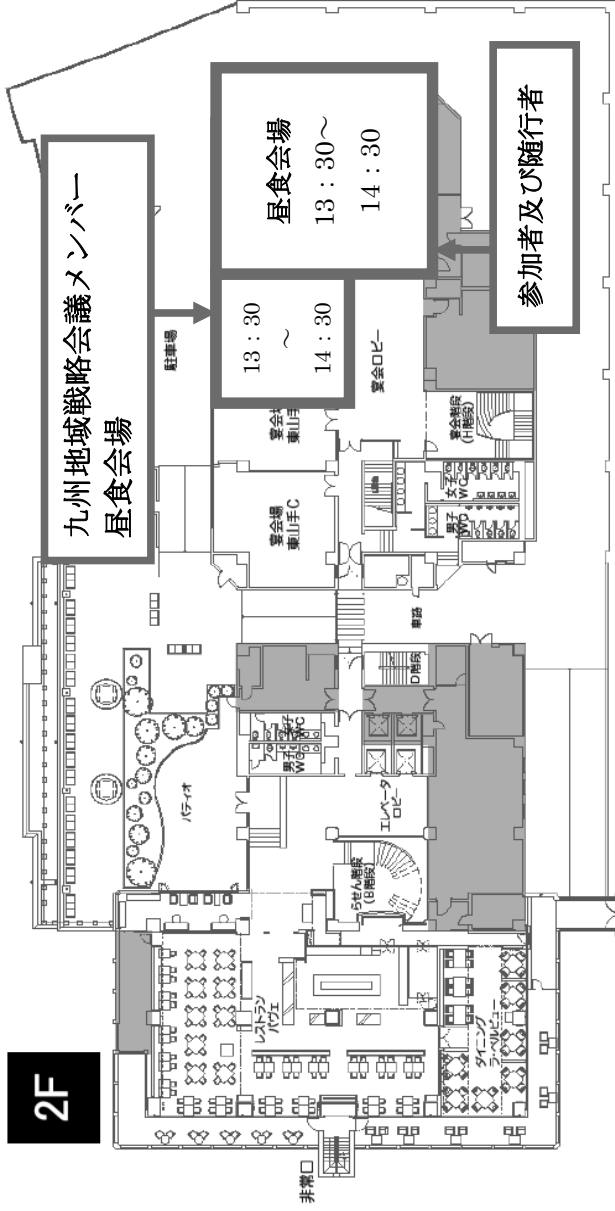


8/4 昼食会場案内図<視察なしの場合>

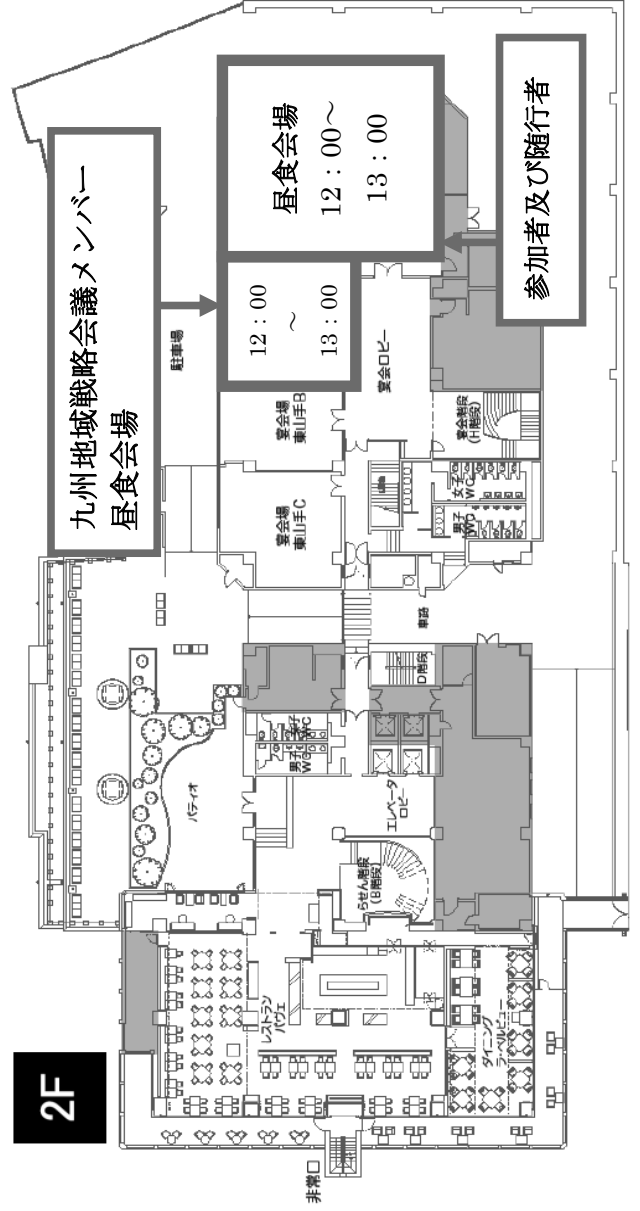


昼食会場案内図

8/4 <視察ありの場合 (晴天時) >



8/4 <視察ありの場合 (雨天時) >



九州地域戦略会議 事務局

九州地方知事会
〒870-8501
大分市大手町 3-1-1
大分県総務部行政企画課内
電話 (097) 506-2481
FAX (097) 506-1712

一般社団法人 九州経済連合会
〒810-0004
福岡市中央区渡辺通 2-1-82
電気ビル共創館 6階
電話 (092) 761-4261
FAX (092) 724-2102